

●シリーズ●わが町の文化財へ65

世羅町指定重要文化財 石造宝篋印塔

昭和44年11月20日指定

石塔は径10mばかりの円墳状の高まり上に造立されており、高さ2.02m、相輪の一部を欠くほかは完存し、町内では大型の優品です。南北朝時代のものと思われ、同所に散在する五輪塔（高さ1.33m）とともに大田庄桑原方地頭に関連をもつ石塔と推定されています。

下津屋十二坊については、嘉禄元（一二二五）年と推定される三善康連書状の中に、「下津屋光延宅の事。彼の下津屋は、往古より、地頭氏寺に候…。」と記されており、下津屋は先の地頭橋氏の菩提寺があり、氏神としての出雲神社（六社権現）も祀られたものとされています。

本塔は、先の地頭橋氏の後を継いだ桑原方地頭三善氏に関連する石塔群と推定され、付近には十二坊（十二箇寺）に関わる坊名が伝えられ、下津屋山一帯には、鎌倉時代末から室町時代前期頃の五輪塔などの残欠群がたくさん散在していて往時の繁栄を物語っています。



●シリーズ●わが町の文化財へ66

世羅町指定天然記念物 横坂のカシ

平成44年4月1日指定

県道吉舎三和線で長田横坂に急カーブの所があり、そこを少し下りると馬洗川にかかる橋があります。渡ってすぐの川沿いに100m下って行くと、樹高20m、株元周囲5.2mのカシ（ウラジロガシ・ブナ科）の大樹があります。

秋にはドングリの実を実らせ、ドングリスポットとなっています。

町内にはこのほか、宇津戸領家八幡神社の社叢（県天然…ツクバネガシを中心とした樹林）、赤屋八幡神社の社叢（県天然…シラカシを中心とした樹林）があります。

